

【参考 1】 新たな専門高校に必要な教育カリキュラムの構築（イメージ図）

イメージ

（例として）

生産から調理・加工、販売まで一貫した食産業等を担える人材育成のためのカリキュラムの構築

素材作り

調理・加工

販売・提供

米
菜 卉 樹 産 林
野 花 果 畜 造

調理
アレンジ
加工

レストラン等での
販売
販売施設等へ
の提供
加工後の販売
提供

専攻科

就農希望者も含めた
学びの場の構築

地 域 生 産 者
の 実 習 や の
資 格 取 得 の
実 習
た め の 実 習
等 を 行 う

卒業

地 域 産 業 を 担
う 子 ども 達 の
育 成

高校 3 年間

4 年 目

【参考2】

「岳北地域の高校の将来像を考える」地域懇談会 意見

1市3村参加者 89人【重複参加者あり】 11/28・11/30・12/3・12/8

※ 以下の点について地域懇談会で意見が出されましたので報告します。

- 通学が大変であり中学卒業後の進路選択肢をせばめないようにしてもらいたい。
- 多様な子ども達の受け皿として農林高校を残してほしい。
- 地域協議会では、農林高校を残す手段としてキャンパス化を検討してきた。両校の魅力あるカリキュラムを残せる方法を今後も検討してもらいたい。
- カリキュラム構築には人材配置が必要であり、人材確保等で岳北地域の支援が必要。
- 農林高校存続のために、県外募集や幅広い年齢層が学べるようにすれば良いのでは。
- 入学者を増やすことを考えてほしい。(夢のある農林高校をどうつくっていくか考えてほしい)
- 地域全体にアンケートをとって、それを反映した意見書を県に提出してほしい。
- 在校生や中学生、卒業生等の意見を聞いてほしい。
- 今年中に意見をまとめて、県に意見書をあげるのは早急すぎる。
- 農林高校が飯山高校の分校になるということには抵抗がある、両校を同じ立場で再編の検討が出来ないか。
- 分校ではなく「名称」については考えてもらいたい。
- 統合し1校としての学びが出来ないのか。カリキュラム編成等で難しいというが、曜日により座学と実習をする方法もあるのではないか。
- 地域キャンパス化となっても校長先生を配置してもらいたい。
- 中山間地特定校の指定について、条件の緩和をお願いしたい。
- 飯山高校の充実についても協議検討をお願いしたい。
- 少人数学級編成について、県教育委員会は考えてもらいたい。
- 教職員の数を減らさないように。
- 農林業専門学校を県に要望してほしい。